(2)水道ビジョンを巡る最近の状況及び地域水道ビジョンの作成について

(水道ビジョンを巡る最近の状況)

水道は快適な市民生活や都市活動を営む上で欠くことのできない重要なインフラ施設であり、安全で安心できる水の持続的な供給を確保するため、現状に満足するのではなく、水道の信頼を維持する努力を継続し、将来ともより良い水道サービス水準の提供を目指していくことが求められている。水道ビジョンは、今後の水道に関する重点的な政策課題とその課題に対処するための具体的な施策及びその方策、行程等を包括的に示すものとして平成16年6月に策定した。

水道ビジョンは21世紀の中頃を見通したものであるが、具体的な政策目標の達成状況については、適宜レビューし、施策・方策の追加・見直しを行う必要があると考え、第1回目のレビューは策定後3年目を目途に行うこととしており、平成19年4月に水道ビジョンフォローアップ検討会を設置し、水道を取り巻く環境の変化等や水道ビジョンに掲げた施策の進捗状況の確認などを行うとともに、水道ビジョンの改訂版の検討を行い、平成20年7月に水道ビジョンを改訂した。

また、来年度は水道ビジョン改訂から3年が経過することから、第2回目の レビューを実施する予定であるため、水道ビジョンに掲げた施策の進捗状況の 確認のための各種調査について協力をお願いする。

なお、水道ビジョン本文、検討会の資料や議事録は次の厚生労働省水道課のホームページで確認できる。

(http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/index.html)

また、水道ビジョンの5つの施策群に関する最近の状況は次のとおり。 水道事業の運営基盤の強化

平成20年 8月 「水道広域化検討の手引き」策定

平成21年 7月 「水道事業におけるアセットマネジメント(資産管理) に関する手引き」策定

平成22年 3月 「平成21年度水道事業運営に係る業務評価手法等に関する調査報告書」

平成22年 3月 「水道事業の統合と施設の再構築に関する調査報告」 安心・快適な給水の確保

平成20年 5月 「水安全計画策定ガイドライン」策定

平成21年10月 「水道事業における高度浄水処理の導入実態及び導入検 討等に関する技術資料」

災害対策等の充実

平成20年 6月 「水道の耐震化計画等策定指針の解説」発刊(財団法人 水道技術研究センター)

平成20年12月 「地震等緊急時対応の手引き」策定(社団法人 日本水 道協会)

平成21年 8月 「水道施設耐震工法指針・解説(2009年版)」発刊 (社団法人 日本水道協会)

環境・エネルギー対策の強化

平成21年 3月 「水道施設におけるエネルギー対策の実際2009」発刊(社団法人 日本水道協会)

平成21年 7月 「水道事業における環境対策の手引き」の改訂

国際協力等を通じた水道分野の国際貢献

平成20年11月 「日中水道セミナー」開催

平成20年12月 「カンボジア-日本水道セミナー」開催

平成21年 3月 「平成20年度水道国際貢献推進調査業務報告書」

平成21年11月 「日越水道セミナー」開催

平成21年12月 「カンボジア-日本水道セミナー」開催

平成22年 3月 「平成21年度水道国際貢献推進調査業務報告書」

(地域水道ビジョンの作成について)

水道が直面する各種の課題に適切に対処していくためには、各水道事業者及び水道用水供給事業者が自らの事業を取り巻く環境を総合的に分析した上で、経営戦略を策定し、それを計画的に実行していくことが必須である。このため、各水道事業者及び水道用水供給事業者が自らの事業の現状と将来見通しを分析・評価した上で、目指すべき将来像を描き、その実現のための方策等を示すものとして「地域水道ビジョン」の作成を推奨することとし、平成 17 年 10 月に健水発第 1017001 号により水道課長から「地域水道ビジョン作成の手引き」を通知しているところである。

平成 22 年 10 月 1 日現在、地域水道ビジョンは、上水道事業 669 事業 (576 プラン)、用水供給事業 59 事業 (42 プラン) 策定されている。

また、地域水道ビジョンが策定されている上水道事業数の割合は 44%、用水供給事業数割合は 58%となっており、地域水道ビジョンが策定されている上水道事業の現在の給水人口の合計は、96,564,687 人となっており、全国の上水道事業の合計の 81%となっている。同様に、水道用水供給事業における 1 日最大給水量の合計は、12,783,232m3/日となっており、全国の水道用水供給事業の合計の 88%となっている。

(平成20年度水道統計データによる)

簡易水道事業の地域水道ビジョンは 45 プラン(上水道事業と共同作成は除く) 都道府県の水道行政主管部(局)による地域水道ビジョンは 3 プラン策定され ている。

地域水道ビジョンの策定状況については水道課ホームページで公表しているところであり、今後、「地域水道ビジョン」を策定する場合には、その参考とされたい。

*水道課ホームページ

「地域水道ビジョンについて」

http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/topics/chiiki.html

水道ビジョンの長期的な政策目標

安心

すべての国民が安心してお いしく飲める水道水の供給

安定

いつでもどこでも安定 的に生活用水を確保

地域特性にあっ た経営 基盤の強化

持続

水道文化•技術 の継承と発展

環境保全への 環境

我が国の経験の海外移転 による国際貢献

1)

水道の運営 基盤の強化

需要者ニーズを踏

まえた給水サービ

スの充実

2)

安心・快適な 給水の確保

3)

災害対策等 の充実

4)

環境・エネル 一対策の 強化

国際協力等を 通じた水道分野 の国際貢献

重点取組項目

刑 決 施 群 韻 解 **(D)**

水道ビジョン改訂の概要

水道ビジョン改訂版の目次構成

水道ビジョンの改訂について--

・ビジョン改訂の背景・経緯等を概説

- 1. 水道ビジョンの目的
- 2. 水道の現況と将来の見通し
- 3. 目指すべき方向性
- 4. 長期的な政策目標
- 5. 政策目標達成のための 総合的な水道施策の推進
- 6. 各種方策の連携による 目標の早期達成

- 1,2章〈時点修正〉 ・現行ビジョン策定以降の水道及び 水道事業を取り巻く状況の変化・新
- たな動き等を踏まえ、記述内容を時 点修正(最新データの反映含む) ・諸課題をもたらす要因等の加筆
- 3.4章 < 原則変更なし> (方向性・長期目標に関する記述)
- 5.6章〈時点修正〉
- ・2章の追記内容等を踏まえた修正
- •7章の重点取組項目のベースとなる 取組方向性等を追記
- 施策日標の内窓の明確化
- 7. レビューに基づく水道施策の重点取組項目
- 8. 関係者の参加による目標の達成
- 9. フォローアップ

9章 < 時点修正> 次回レビューは、中長期的 な対応に向け進捗の公表し つつ、本ビジョン改訂後3年 日を目処に実施

- 8章く地域水道ビジョンの追加>
- ・水道事業者等の積極的な取組による本ビジョ ンの達成に向け「地域水道ビジョン」の策定を
- ・広域的観点から流域単位や都道府県単位な どでの作成も推奨

7章<5施策群レビュー結果・重点取組項目>
・フォローアップ検討会におけるレビューの結果を踏まえ、今後、水道関係者が一体となって重点的に取り組むべきとされた項目を明示

まら取れて百日

- 水道の運営基盤の強化 ・都道府県版地域水道ビジョン策定推奨など推進の枠組面からの広域化推進
- 持続可能な運営基盤確保のための最適事業規模
- ・運営管理に係る民間部門導入に関する技術的・客観的評価
- ・第三者機関等による技術的観点等からの業務評価
- ・水道技術の継承、官官・官民等連携による技術者の育成・確保
- · 事業運営状況の適切な評価・指導等のための最適な事後監督手法 ・中長期的視点に立った計画的・効率的な改築・更新、資金確保、情報提供

安心・快適な給水の確保

- ・水安全計画の普及定着・高度浄水処理の導入等の推進
- ·水道水源流域等関係者の連携強化
- ・貯水槽水道の情報提供、直結給水への切替促進・飲用井戸等の把握、関係者の連携、水質検査結果の利用者への提供
- ・クロスコネクション防止 ・鉛製給水管布設替え促進
- 産学官連携による技術開発、普及

- 耐震化計画の策定、実施に向けての取組推進・石綿管の早期布設替え
 耐震化達成状況が遅れている水道事業者等の速やかな実施
 耐震化の需要者への情報提供・水資源開発等計画促進、渇水対策充実
- ・水道事業者等間の連携などを含めた応急給水、復旧体制の整備 ・ 危機管理マニュアル等などの危機管理体制の整備

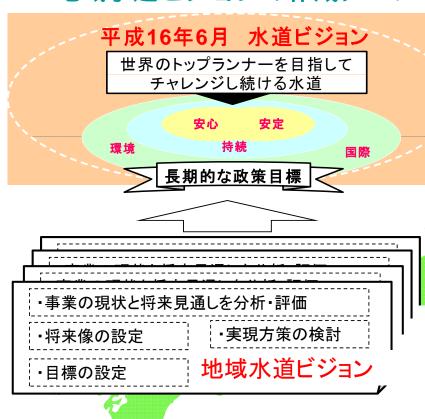
<u>環境・エネルギー対策の強化</u>

- ・環境対策の各種取組の積極的・計画的実施 ・取組事例等の分析、事業規模・特性に応じた対策導入に関する情報提供
- ・環境対策にも資する各種取組の推進 ・国民への積極的な情報提供

国際協力等を通じた水道分野の国際貢献

- ・水道事業者と民間の連携による施設の維持管理
- 相手の経済・社会状況に応じた水道事業育成支援
- ・アジア・ゲートウェイ構想に基づく措置 ・業務指標の活用、世界標準への展開
- ・姉妹都市等自治体間の国際交流・協力

地域水道ビジョンの作成について

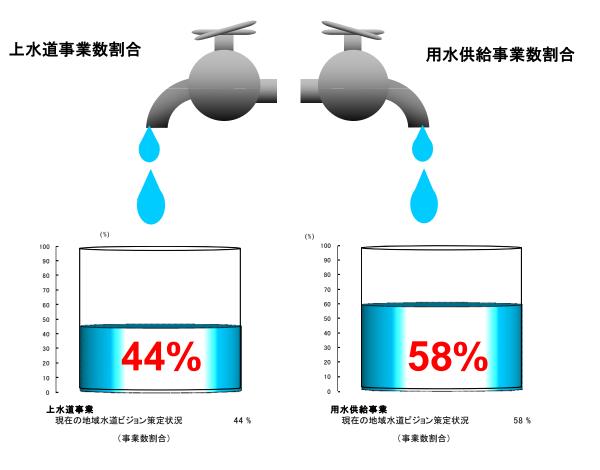


「水道改革」の主役はそれぞれの事業体であるため、水道事業者等による地域ごとに具体的なビジョンづくりが望まれる

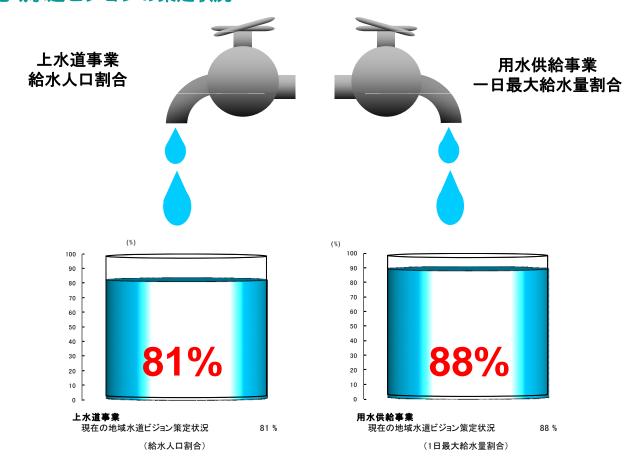
「地域水道ビジョンの判定要件]

- 将来像の実現に向けた方策
 を記述しているか
- 2. 公表しているか
- 3. 事業の現状及び将来見通しを評価しているか
- 4. 目指す水道の将来像を示しているか

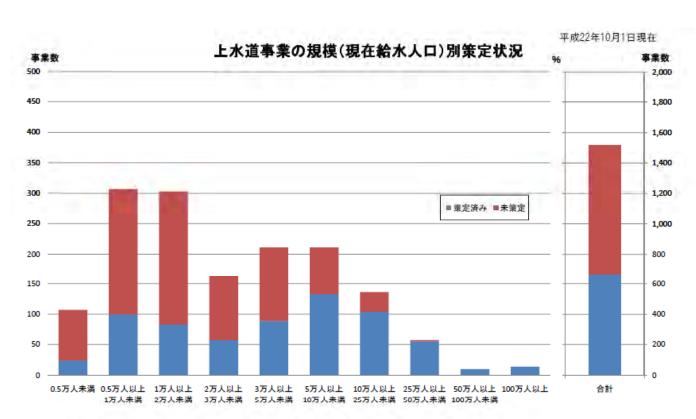
地域水道ビジョンの策定状況



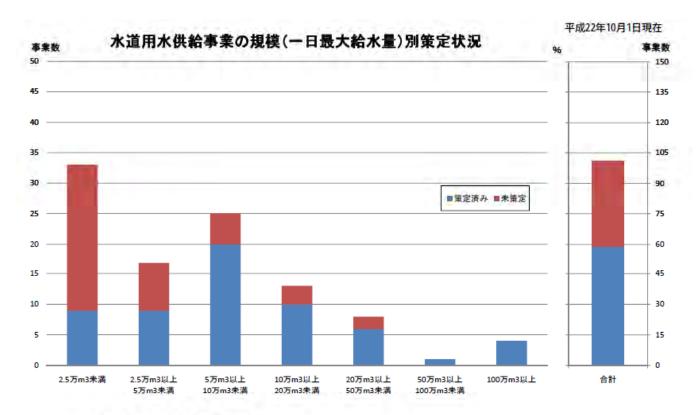
地域水道ビジョンの策定状況



地域水道ビジョンの策定状況

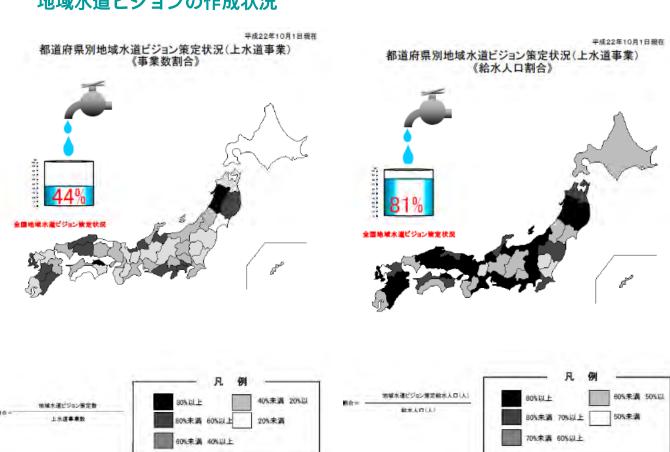


地域水道ビジョンの策定状況



(注) 一日最大給水量は、平成20年度水道統計による。

地域水道ビジョンの作成状況



地域水道ビジョンの作成状況

